

平成27年度（2015年度）第1回池田市図書館協議会会議録要録

日時：平成27年7月5日（日）午前10時～12時00分

場所：池田市立図書館2階会議室

出席者：（委員）石田会長、齋藤副会長、牛嶋委員、藤原委員、彭委員、丸山委員、
山田委員、伊東委員、上垣委員、佐藤委員
（事務局）加藤図書館長、東本石橋プラザ館長、他職員3名

傍聴者：なし

-
- 議題 1 平成26年度図書館活動より
 図書コーナー及び広域貸出の利用報告
2 今度の図書館運営の方向性について
3 その他

- 配布資料 ・ 図書コーナー利用統計
 ・ 3市2町及び川西市広域利用統計
 ・ 『翔べ「丘の上の図書館」～池田市立図書館への提言』の進捗状況
 ・ 図書館課題実現への行程案

<事務局より平成26年度の活動報告>

- 会 長 図書コーナーについて何か質問等ありますか。
- 委 員 駅前サービスポイントが廃止になり、どうなるかと思っていましたが、図書コーナーの利用がこれだけあるということは、駅前の利用者が図書コーナーへの利用にスムーズに移行した結果で、よかったと思います。
- 委 員 通勤、通学途中に利用でき便利であり、小さいが図書館のサテライト的な機能を果たしていると思います。所蔵図書の基準はどうなっていますか。
- 事務局 YA、ビジネス書など特化したものの他、利用者層にあわせた本を置くようにしています。
- 委 員 新しい本や話題の本などたくさん並んでいるように思います。
- 委 員 図書コーナーの存在をまだ周知できてないところもあるのではないのでしょうか。更なるPRに努めては。
- 会 長 苦情的なものはありませんでしたか。
- 事務局 蔵書数の少なさ、コーナーが狭い、利用者増にともない処理端末が2台しかないので「待ち時間が長い」等の苦情が聞かれました。
- 会 長 では次に広域利用について事務局より説明してください。

<広域利用について事務局より説明>

委員 池田市民の他市利用、とくに箕面市の図書館利用が多くなっています。他市は生活上の利便性の良い場所にあるから行きやすいのではないかと思います。

委員 広域利用はそこにある本しか借りられないわけですが、他市は便利な所にある図書館には本が多くありますね。池田市の場合、本がたくさんある本館は利用に不便を感じます。

委員 共同利用施設に図書館分館又はサービスポイント的機能があれば、池田の図書館利用の利便性もアップするのではないのでしょうか。

事務局 現在、共同利用施設の見直しが進んでいるところです。施設の耐震化が優先で費用の問題など様々な問題があります。可能性がない訳ではありませんが…。

委員 今、マイクロライブラリーというのがあるが、利便性の問題解決の1つの案としてはどうですか。

委員 地域への貢献として、民間の協力が必要ですね。

委員 大学の図書館も変わりつつあります。カフェ付やプレゼンのできるスペースがあったりします。昔とはずいぶん変わってきています。このようなスペースがあると等、これからの図書館は変わっていく必要があるのではないのでしょうか。

委員 今この図書館をそういう風に変えるというのはどうかと思います。ここにはこの役割があるので、それを踏まえた変化を考えて利用増を目標にするより、図書館の特徴を出すということを重視した活動をしていくべきではないかと思います。

委員 情報格差をなくすことが大事で、図書館ではそれなりの資料をそろえる必要があります。各市の図書館は各市の税金で運営されています。まずは市内各所で本が受け取れることが大事で、市民全般にサービスが行き渡ってから特化したサービスに目を向けてはどうかと思います。

会長 では、議題2の「今後の図書館の方向性」に移ります。

<事務局より説明>

委員 図書館は本を貸すだけが目的ではありません。この図書館のハード面の改善は無理だと思います。特色を出すには、ソフト面、ボランティアの協力が大事だと思います。

会長 方向性として課題の中から「市民がわくわくしながら集い、出会う楽しい図書館」に重点を置いて考えたらどうでしょう。

委員 図書館の機能として「人と人のふれあい」が大事だと思います。地元民間企業に働きかけて交流の場をつくるというのはどうですか。

委員 外に喫茶コーナーなどがあれば、オープンカフェとかおしゃれな空間づくりができないのでしょうか。

会長 自習室の活用も考えてはと思います。

では、時間となりましたので、これらの課題については今後の継続審議とします。

<閉会>